



**【生徒／学校の現状】**  
 ・落ち着いた環境で学び直しに力を入れながら学習し、基礎ゼミ等を活用して基礎学力の定着を図っている。  
 ・真面目な性格で基本的な生活習慣を身に付けている生徒が多いが、自発的に表現活動を行ったり、学力や体力の向上に意欲的に取り組む生徒が少ない。

**【予想される社会の変化】**  
 人口減少が加速する反面、IT技術や人工知能が革新的に進化し、生産手段と労働人口が淘汰され社会的責任を担う機会が増える。

**【教育目標】**  
**活眼を開いて心身を鍛える**  
 「活眼」とは物事の本質を見抜く眼、良し悪しを正しく見極める眼をいい、今後社会の一員として社会を支えるために働く意義を知り、覚悟を固めて準備すること

**【学校像/学校経営計画】**  
**進路指導重点主義**

**【目指すべき生徒の将来像（20年後の生徒の姿など）】**  
**社会を支える責任ある市民として幸せな一生を送ることができる人間**

**【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力】**

○高度な高等教育を受けることができる資質・能力の育成 ◆考え抜く力（シンキング） 課題発見力・思考力・判断力・創造力	生徒が将来社会で活躍するために必要な力「社会人基礎力」の育成 ○グローバル化の進展により社会の環境変化を生き抜く資質・能力の育成 ◆チームで働く力（チームワーク） 協調性・規律性・多様性・高い倫理観
○生涯をかけてキャリアを積んでいける資質・能力の育成 ◆前に踏み出す力（アクション） 主体性・チャレンジする力・実行力	○知識やスキルを自ら随時アップデートすることができる資質・能力の育成 ◆振り返る力（リフレクション） 何を学ぶか・どのように学ぶか・どう活かすか

**【学校の教育活動全体を通して（教科横断的に）育成すべき資質・能力に基づくルーブリック】**

育成すべき資質・能力		C (気づく)	B (できる)	A (高度にできる)	S (周囲を巻き込む)
考え抜く力	課題発見力	現状を理解し、目的や課題があることに気づく。	現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる。	多様な価値観を考えながら、現状を分析し、目的や課題を明らかにすることができる。	周囲を巻き込み、合意形成をしながら、目的や課題を明らかにすることができる。
	思考力	問題があることに對して気づくことができる。	自らの問題に對して解決しようと思えることができる。	問題に對して自ら解決するために多角的に考えることができる。	問題に對して自ら考え解決したことを他人に説明し、広げることができる。
	判断力 創造力 (計画力)	物事に對して新たに取組む必要性と大切さに気づくことができる。	物事に對して意欲的に取組むことができる。	物事に對して解決するための手順を計画し進んで取組むことができる。	周囲の状況を判断しながら、組織的・計画的に物事を進めることができる。
前に踏み出す力	チャレンジする力 (主体性)	物事に對して興味関心を持つことができる。	興味関心を持った物事に對して問題点を発見し、解決に向けて考えることができる。	問題点を発見し、解決に向けた手段を考え、計画的に降り組むことができる。	問題点を発見し解決するまでの方法、取組みを他人に教えることができる。
	実行力	助言の下、目標を設定することができる。	目標を設定し、確実に行動することができる。	目標を設定し、最後までやり切ることができる。	周囲を巻き込み、最後までやり切ることができる。
チームで働く力	多様性 (適応力)	様々な状況に応じようとする。	様々な状況に応じることができる。	多様性を視野に入れながら、様々な状況に応じることができる。	自己が所属する集団として、様々な状況に応じることができる。
	協調性	他者と協力して取組もうとしている。	他者と協力して取組むことができる。	他者の意見を尊重し、意見を生かしながら取組むことができる。	他者と協働で解決した問題からさらに発展的な思考をすることができる。
	規律性 (高い倫理観)	社会のルールを守ることの大切さに気づく。	社会のルールを守ることができる。	社会のルールや人との約束を守ることができる。	社会のルールや人との約束を守ることができ、周囲に影響を与えることができる。
振り返る力	問題解決までの手段を振り返ることができる。	解決までの手段を振り返り、順序だてて説明することができる。	解決した問題の中から新たな疑問を持つことができる。	解決した問題から新たな疑問を思考し、他者に提起し考察することができる。	



目指すべき生徒の将来像

**社会を支える責任ある市民として幸せな一生を送ることができる人間**